

令和6年度第2回伝国の杜運営協議会議事録

○ 日時 令和7年2月19日（火）午後3時～午後5時

○ 場所 伝国の杜 小会議室

○出席者

（委員） 9名

井家 勝己 金子 聡彦 新井 千香代 長岡 勝也 鈴木 和賀子
近藤 里美 永井 学 高野 正雄 山村 洋子

（事務局） 7名

曾根 伸之（理事長兼博物館長） 渡部 洋己（常務理事兼事務局長）
花田 美穂（学芸担当主査） 阿部 哲人（主査(学芸員)） 安部 理絵（主査）
寒河江 大輔（総務担当主査） 菅原 詩織（主事）

1 開会

2 理事長あいさつ

本日の会議の後に、開催中の新収蔵品展をご観覧いただく時間を設けているが、昭和11年の豪雪の時の絵はがきなど、見どころが沢山展示されているので、ぜひご覧いただきたい。また、1月3日に博物館常設展示室の入館者が200万人を達成することができた。関係者の皆様のご協力あってのこと、心より感謝申し上げる。常設展示室は、この米沢の礎を築いた米沢藩の歴史を中心に、国宝「上杉本洛中洛外図屏風」や「上杉家文書」などの魅力を伝えている。今後とも米沢の文化的なアイデンティティを伝え、発信していく当館の役割を大事にしていきたい。本年度を振り返ると常設展示の上杉文華館では長尾上杉氏の北陸侵攻をテーマに展示し、企画展示室では、上杉茂憲展、KAGAYA展、上杉氏と鷹と馬展、椿貞雄展、そして現在開催中のコレクション展を開催した。文化ホールでは、PROWiND米沢公演、満月、落語二人会、能狂言公演と先月は山響ユアタウンコンサートを開催した。ユアタウンコンサートには、本日出席の永井委員にもステージに立っていただき素晴らしい公演となった。博物館全体の1月までの利用者数は、96,536人で、前年同月比101.1%である。そのうち、常設展示室、企画展示室の入館者は、85,984人で同101.3%である。特別展、企画展は、現時点で目標入場者数の80%台にとどまっておらず、今後細部の評価分析を行いながら、より一層県内外のお客様にお越しいただけるよう尽力する。また、大会議室を含めた貸館利用者は、同じく1月までで29,709人。このほか、市民ギャラリー

一では、高森務展、福王寺一彦展とオープンギャラリーの展示、また、座の文化伝承館の展示のほか、教育普及事業、サポーター事業、ファンクラブ事業、更には収蔵資料に関わる調査研究に取り組んでいる。資料をご覧いただき、評価やご意見を頂戴したい。

コロナ渦前と比較するとまだ改善の余地が残っている。この数年の観光動態の変化や、人口減少の影響もあり、一朝一夕に回復するのは難しいが、日頃から市のご指導を頂戴し、また上杉文化エリアを中心とする関係団体の皆様との情報交換を密にしながら職員一同取り組んでいきたい。日々の業務執行をとおし、地域の博物館として真摯に向き合っていく。本日限られた時間の中ではあるがよろしく願います。

3 会長あいさつ

皆様には、伝国の杜の運営に携わっていただき、そして様々な展示やイベントをご覧いただきありがたく思う。今回は、これまでの皆様の活動を通して中で感じたことをご意見としていただけたらと思う。

4 報告

(1) 令和6年度事業実施状況

概略について事務局から説明

(2) 外国人入館者の状況

概略について事務局から説明

(委員) 外国人観光客が伝国の杜に訪れるきっかけになる広報や活動を伺いたい。旅行会社とのタイアップなどしているか。

(事務局) 伝国の杜単独では旅行エージェントに売り込みなどは行っていない。米沢市や観光コンベンション協会による市全体の観光誘客活動で伝国の杜を紹介している。外国人観光客用のパンフレットは用意しているが、展示を一つ一つ案内することは難しく、受け入れ態勢は不十分な面がある。ツアーで観光に来ている旅行客に来館の具体的なきっかけについて動向調査を行ったことがないので不明である。

(委員) 外国人観光客に対する展示や受付の対応で工夫していることがあれば紹介して欲しい。

(事務局) 昨年外国人観光客事業の一環で、常設展示室の展示の一部にQRコードを掲載し、そこから多言語の解説が見られるようになった。

5 意見交換

(1) 令和7年度事業計画及び事業評価指標
概略について事務局から説明

(2) その他

(委員長) 全体をとおして各委員会から発言をお願いします。

(委員) なせばなるボールペンが好評とのことだが、シャーペン、フリクション、スマホ用タッチペン、手帳などのラインナップを揃えてシリーズ化して欲しい。

(事務局) 新商品に関しては、昨年行った職員アンケートなどを参考に今後予算の中で順次開発していくので、委員のご意見も含めて検討する。

(委員) 中々足を運ぶことができずに心苦しいが、本日、来年度のホールの事業の見どころを伺いぜひ行きたいと思った。ラジオ等に出演して担当者の熱い思いを伝えてほしい。来年度の改修工事でどのように変化するか楽しみである。

(委員) 11月から行うホールの改修工事の内容を教えて欲しい。博物館は改修の予定はあるのか。また、座の文化伝承館には今後足を運んでみたいと思っている。私と同じように行ったことのない人は沢山いると思うので、市民茶会や展示などの他にも様々な催しを行い、その魅力を発信して欲しい。最後に、山響ユアタウンコンサートについて、年代の異なる合唱団が出演したが、上手くまとめていただき、観客からも好評であったこと、改めて感謝する。

(事務局) 令和7年度の改修工事は、①ホール、楽屋、練習室、会議室などのマルチパッケージエアコンの更新、②舞台の緞帳、音響反射板、袖幕などの吊物機構の更新、③照明一期工事である。照明は、将来的にLED化に対応することを視野に入れながら、今回の改修ではまず劣化箇所を修繕する。

(事務局) 博物館では、展示室のスポットライトのLED化の準備を進めている。蛍光灯が近々販売終了となり、ランプハウスも修繕できなくなっているため、設置者である米沢市と相談しながら改善していく予定である。開館30年目を目途に、常設展示室の一部リニューアルがで

きないかと思っているが、非常に予算がかかるので、こちらも米沢市と話し合いながら進めていく。

- (委員) 今回の資料を見ると、アンケートの回収率が低い事に驚いた。質問内容は、開館以来同じ内容なのか？アンケートの最後に、一番好きな作品や、感動したことなどを書いて頂けば、今後の展覧会の参考になるのではないかと。展覧会は、来館者に感動してもらうことが大事である。私も各地の歴史館や資料館を見に行っているが、安来市の足立美術館は、四季の自然を彩った庭園と美術作品を楽しむことができ素晴らしい。米沢も恵まれた自然を活かしながら、来館者の心を掴む展示を行って欲しい。
- (事務局) 来館者向けのアンケートの内容は、開館当初からほぼ項目が変わっていないので、何が一番感動したのかを自由記述ではなく、来館者が簡単に記入できるように改良していく必要がある。
- (委員) 山響ユアタウンコンサートを鑑賞して、とても感動した。そこで印象的だったのが生徒の頑張る姿はもちろん、その保護者の楽しそうに応援する姿を見ることができたことである。全てのイベントでは難しいが、このような生徒参加型の事業はかけがえのない経験や思い出になるので今後も機会があれば若い世代が力になれる企画を設けて欲しい。
- (委員) 中学生は、教科書に載っている洛中洛外図屏風の原本が地元にあることを生徒はあまり知らず、上杉博物館所蔵と聞くと驚いていた。以前開催して頂いた博学連携の出前授業は、子ども達が、自分が住んでいる所に誇れるものがあることを知り郷土愛を育むとてもいい機会に思う。開催中の新収蔵品展で展示している手紙の内容が、昔も現代も人の思いは同じだと感じ、印象に残った。常設展示室の上杉関連の歴史に加え、こうした近代の展示を見ることができるのはとても面白い。
- (委員) 伝国の杜から離れている学校はなかなかここに来ることができないので出前授業を行ってもらえるのは大変ありがたい。個人的には次年度の展示の中ではブルーノ・ムナーリの展示を楽しみにしている。機会があればポップアートの展示を行って欲しい。
- (委員) 今回の資料にもあるとおり、どの施設も入館者数がコロナ渦前までなかなか回復していないように感じる。前回の会議でも、入館者を増

やすための方法を話し合ったが、目に見えて人々の関心を集められる企画は難しく、地道に広報、宣伝を頑張るべきかと思っている。先生方が生徒に文化と触れ合う機会を沢山設け、尽力しているように、私も委員として全部の開催イベントや展覧会に足を運ぶつもりだったが、今年はコレクショントークとギャラリートークに行けなかった。一般の方も来ていただければ間違いなく楽しめると思うが、タイパ・コスパを求める時代となり、現地に出向かない傾向がある。学生も、課題に取り組む際に図書館へ行かずにスマホで調べて済ますようになってきている事も時代背景の一つである。しかし、心を育むためには直接出向いて文化に触れることが一番なので、児童や学生が興味を持ち、来館するきっかけを作れたら良いと思う。また、博物館に比べてホール事業のポスターが少ないように感じる。立派な能舞台があるので、そこをもっとアピールできる企画があると良い。国立歴史民俗博物館では、ディスプレイを使用して洛中洛外図の解説などを行っており興味深かった。また、ホールの事業について、吹奏楽コンサートやおさらい会など一部を除いて写真撮影と同様に動画の撮影も禁止はすだが、公演の際に何人か撮影している人が見受けられたので、プラカードを作成するなどの対策が必要ではないか。グッズについて、新作の亚克力キーホルダーの販売を楽しみにしている。また、ショップのディスプレイとして配置している手作りの洛中洛外図屏風の人物の切り抜きが素敵なので、それらを模した景品のガチャガチャがあっても面白い。

(事務局) 開演時に禁止事項をアナウンスしたが、開演から遅れてきた観客へは周知はしていなかったなので、今後改善する。

(委員) 座の文化伝承館の市民茶会に参加したが、本来参加費がかかりそうな体験を無料で楽しめるのはとても素敵な催しだと思う。山響ユアタウンコンサートを家族と鑑賞して、とても楽しい時間を過ごした地元の団体の活躍する場として企画されている事が良かった。今後とも是非こういった催しの普及、広報をお願いしたい。

6 その他

なし

7 閉会

新収蔵品展を観覧

以上